

AUTOSAR - 前進を続ける世界標準

ドイツ技術者協会 (VDI) 主催の「車両用電子システム (Electronic Systems for Vehicles) 」国際会議にて、AUTOSAR スポークスマンのシモン・フルスト氏は、AUTOSAR 第二期 (2007 ~ 2009 年) に実現されている改善点をまとめ、第三期 (2010 ~ 2012 年) のさらなる発展の見通しを語りました。2007 年以降、AUTOSAR はリリース 3.0 と 3.1 を発表し、新たな項目を採用すると共に、従来の仕様の成熟化を進めてきました。AUTOSAR 開発パートナーシップの第二期は、2009 年末までに発表予定のリリース 4.0 により間もなく完了します。第 14 回 VDI 国際会議は、ドイツのバーデンバーデンにて 2009 年 10 月 7 ~ 8 日に開催されました。

次の大きな飛躍となるリリース 4.0 では、方法論とテンプレートを重点的に改善し、第二期から第三期への移行が明確になっています。ECU 設定パラメータの統一、測定およびキャリブレーションの強化、ECU リソース・テンプレートの更新、Field Bus Exchange Format (FIBEX) 標準との一層の整合性が、今回の改善を進める上で鍵を握っています。リリース 4.0 には、AUTOSAR によって標準化された多数のアプリケーション・インターフェースが盛り込まれる見通しです。具体的には、ボディとコンフォート、パワートレイン、シャシー、乗員と歩行者の安全、およびヒューマン・マシン・インターフェース (HMI) や、テレマティクスおよびマルチメディアに関する、車両に関する 5 つの領域すべてのアプリケーション・インターフェースが採用されます。さらに、AUTOSAR は新標準となるリリース 4.0 を発表する前に、その有効性の検証に取り組むことにしました。リリース 4.0 は既存アーキテクチャの部分的拡張であるため、検証結果を組み込んでから発表することができます。また、高品質を確かなものにするために、開発パートナーシップは今回初めて方法論およびテンプレートの検証を実施することにしました。方法論の検証はリリース 4.0 に基づいて実施されますが、テンプレートの検証は使用できるツールの関係上、一部はリリース 3.0 に基づきます。「リリース 4.0 には、独自機能も含め、驚くほど多くの新機能が搭載されます。」と、AUTOSAR スポークスマン、シモン・フルスト氏は述べています。そして、「その一方で、AUTOSAR 第三期の開発期間中は従来のリリースの維持も行います」と続けます。リリース 4.0 で導入される新たなコンセ

プトは、機能安全やバリエーション処理のサポートなどの改善や拡張を充実させることです。

リリース 5.0 を目指して

AUTOSAR のコアパートナー各社は、2010 年初めから 2012 年末までの AUTOSAR 第三期に関する新規契約の締結を完了しています。主な焦点となるのは、メンテナンス、標準への選択的な追加、成熟化の促進、新規ハードウェア・メカニズムのサポート、既存 AUTOSAR システムのさらなる強化です。そのため、AUTOSAR 第三期では、リリース 5.0 へとつながるリリース 4.0 の継続的拡張が主眼となります。コアパートナー全社とプレミアムメンバー・開発メンバーに、具体的な追加項目の作成の基となるコンセプトの洗い出しと提案への参加を呼びかけています。2010 年中に合同でコンセプトを策定し承認を受ける予定です。可能な限り下位互換性を確保すると共に、信頼できる互換性情報が提供できるように、追加項目を設定します。一般的には、追加項目は新技術やトレンドをサポートしながら、従来の機能を拡張することを目指しています。

柔軟なワーク・パッケージ構造

標準に関する改善に加えて、AUTOSAR の組織も変更されます。第三期構造では、「技術エキスパート・グループ」という、AUTOSAR 構造のアーキテクチャ・ビューおよびシステム・ビューを担当するワーク・パッケージが導入されます。さらに、特定のモジュール仕様の開発および保守を担当するワーク・パッケージも設置される予定です。各ワーク・パッケージの構造はプロジェクトの領域によって変化して、フレキシブルに適応します。シモン・フルスト氏はこれについて、「固定的な技術エキスパート・グループと柔軟なワーク・パッケージ構造に分割することで、AUTOSAR はさらなる生命力を得て、今後のニーズに対応するために万全の態勢が整います」と述べています。

AUTOSAR (AUTomotive Open System ARchitecture) は自動車メーカー、サプライヤーまたエレクトロニクス、半導体およびソフトウェアを専門とする企業の世界規模の開発パートナーシップです。

2003年からこれらの企業は、自動車業界のための開かれたそしてオープンな標準化されたソフトウェア・アーキテクチャの開発と導入に取り組んできています。AUTOSARの仕様を活用することによって取り組みで、ソフトウェアとハードウェアの交換およびアップデートを容易にすることが出来ます。

により増大する自動車用の車載電気 / 電子システムの複雑化ということに対して確実に管理していくことが出来るようになっていきます。性の確実な管理基盤を形成します。またAUTOSARは品質面での妥協することなく、コスト効率を向上させることが出来ます。AUTOSARのコアパートナーはBMWグループ、Bosch、Continental、Daimler、Ford、Opel、PSA Peugeot Citroën、トヨタ自動車株式会社、Volkswagenです。さらにおよそ50社の“プレミアムメンバー”がパートナーシップの成功で重要な役割を果たしてきています。AUTOSARの開発パートナーメンバーシップに参加する企業はAUTOSAR仕様を無償で利用することができます。

お問い合わせ:

www.autosar.org

media@autosar.org